

人生の最期の尊厳を考える

— 特別養護老人ホームの食事場面を通して —

富田清志郎 西本優希 藤井洸多 増本拓朗



1. 特別養護老人ホームで目にしたこと

加齢に伴い自力で食事をとることができなくなる人がいます。私たちは、その状態は食事介助することで対応できるのであり、それ以上のことは考えていませんでした。

しかしながら、特別養護老人ホームに実習に行き、加齢や病気により、食欲がない人や、飲食が難しい(嚥下困難な)人がいることを知りました。とはいえ、飲食をしなければ、人は死んでしまいます。そのため、その状態に対して現場では、

- ①本人は食事をしたそうには見えないが、職員が、嚥下(飲み込み)に気をつけながら、
どうにか食べてもらおうとしている。
- ②食事用のシリンジ(注射器の針がないもの)により、ミキサー状の食事を提供する。
といった対応がされていました。



2. “いのち”と尊厳という絶対的な価値

特別養護老人ホームの職員の方は、入居されている方の“いのち”を守るために、介護においてできる様々な対応をされており、改めて、“いのち”の大切さを感じました。

その一方で、その食事場面において「尊厳」が保持されているのだろうか、と感じました。

“いのち”を守ることが、その人の尊厳の保持につながる、という考えもありますが、どこか釈然としない中で実習を終えました。



3. 加齢や病気により、食欲がない人や、 飲食が難しい(嚥下困難)がいる人の 食事場面における「尊厳」を考える

そこで、同じように問題意識をもった者が集まり、この課題について考えました。話し合いの中で、食事場面について、

(1) 職員の視点、(2) 食事をしている人のいまの視点、(3) 食事をしている人が、まだ認知機能が十分にあった時の視点、(4) 家族など、その人を大切に思っている人の視点、この4つを想像し、その架空の対話の中から、加齢や病気により、食欲がない人や、飲食が難しい(嚥下困難)がいる人の食事場面における「尊厳」を考えてみました。



(1) 職員の視点

職員にも次の2つを想定してみました。

① 仕事に追われている職員の視点



- 職員一人で、見る利用者が多い気がする
(人手不足)
- この後やることがあるんだけどな。。
- 食事全然食べてくれへんやん。
- 私の食事介助の仕方が間違ってるんかな。



② その人の尊厳を意識している職員の視点



- 何食べたいやろ？おいしいかな？
- ペースはこれで大丈夫かな？
- 食事たのしいかな？



(2) 高齢者(入居者)の視点

①いまのAさん

- ・食事が楽しくないなあ
- ・私は自分のペースで食べたいねんけどな。。。
- ・急に口にご飯が、運ばれてびっくりするんよな。
- ・食事の順番がぐちゃぐちゃでご飯が余計に進まへん。



(3) 大切な人の視点

- ・シリンジ以外の方法で食事できんかな？
- ・無理やり食べさせている感じがするんやけどな。
- ・食事の時間が面白くなさそう。
- ・でも生きてくれているだけで嬉しいな
- ・生きていくには仕方ないんかな



4. ソーシャルワークにおける専門的価値(尊厳)についての学び

(1) 暫定的な結論

以上の架空の対話を通して、私たちが考える、「加齢や病気により、食欲がない人や、飲食が難しい(嚥下困難)がいる人の食事場面における尊厳」とは以下のようなものです。

- ・食事が楽しい雰囲気を作る。
- ・食事の内容を、一回一回説明する。
- ・言葉と目で利用者さんと会話をしてしっかりと利用者さんの意志で食事をしてもらう。
- ・利用者のペースに合わせる。
- ・声かけをする。
- ・無理に食べてもらうのではなく、自発的に食べるように促す。

(2) 尊厳を意識し問うことの大切さ

施設での生活では利用者の**生命の保持**が第一優先になりやすいと思います。確かに、利用者の**命**は大切にかけがえのないものにはあります。しかし、それと同様に利用者の**尊厳の保持**も大切にかけがえのないものだと私たちは考えます。

生命の保持と**尊厳を保持**の両方を保つことの正解は私たちにはわかりません。しかし、**命**と同じくらい**尊厳**についても意識し考えることが大切だと考えます。



ソーシャルワークの展開過程 における学び

関西福祉大学 実習指導Ⅲ 中村クラス

久斗 萌花 藤原 采音

松村 直哉 田中 慎太郎



事例

◆ Aさん 78歳 要介護4

疾患：認知症

職歴：以前、手話通訳の仕事をしていた。

生活課題：特別養護老人ホームでの生活で
楽しみや生きがいがない



皆さんならAさんに対して
どのような支援を
行いますか？



この事例に対して、
ある実習生が行った支援内容を、
ソーシャルワークの展開過程に沿って
ご紹介します。

来年の実習の参考になれば嬉しいです。



①アセスメント

□情報収集と問題の明確化

「することがない」「楽しいことがない」「ただ死ぬのを待っているだけ」等の発言あり。



生きることへの意欲が低下している

【優先的生活課題】

生きがいや楽しみを持って
生活することができていない



②プランニング

1. 支援目標の設定

長期目標→楽しみや生きがいを持って生活することができる

短期目標→楽しみや生きがいとなるものを見つける。好きなことに対する意欲を高めよう。

「Aさんは手話通訳の仕事をしていた」



「手話教室」の企画



2. 支援計画の作成

【ミクロ】

- ・好きなことについての話を沢山する。
- ・手話教室を開催する。

【メゾ】

手話教室開催にあたって施設職員に協力を仰ぐ。
(手話教室を開催する環境を整える)



③ インターベンション(支援の実施)

□ ソーシャルワーカーによって意図的に行われる援助活動

Aさんに手話教室の先生役をして欲しいとお願いすると、
「頑張ろうと思うんだけど、ちゃんとできるか不安」と興奮気味に私に訴えかけた。

→プレッシャーを感じてしまっているのでは？

「手話教室」から、会話の中で自然に手話を教えてもらうというものに変更。

その後も、実習生とAさんの一対一で手話を通した関わりづくりを行った。

「手話の先生と生徒」
のような関係性



④モニタリング

□ 介入(支援・サービス)開始後の経過の観察・点検のこと

✓ 支援に対してのAさんの満足度

✓ Aさんの希望・ニーズ

→ **ニーズの変化を捉える**

外に出て色々なことをしたい。元気に歩けるようになりたい。

➤ ニーズが前向きなものへと変化し、将来への希望が芽生えていた。

✓ 今後の課題



⑤エバリュエーション (全体評価)

1. 目標達成度の確認

私との手話を通じた関わりが、Aさんの楽しみとなっていた。また、手話に対しての意欲が高まり、Aさんの方から積極的に教えてくれるようになった。

最終的には、初回アセスメント時よりも笑顔が増え、将来への希望について話すことが多くなった。「身体も元気になって色々なところに行きたい。そのために歩く練習を頑張っている。」等)

→ **長期目標・短期目標ともに達成することができた。**



2. 支援計画の見直し

ニーズに変化があったため、「歩く練習を頑張っているAさんに対して鼓舞するような声かけをし、向上心の維持を図る。」というプランを追加した。

→ ニーズの変化を捉えることで、新たな支援計画を作成することができ、利用者の豊かな生活に繋がる。



➤ ソーシャルワークのニーズを発見し、支援することの重要性

特別養護老人ホームや在宅介護サービスなどでは、**介護のニーズ**(褥瘡・拘縮の予防、個々の状態に合わせた食事・排泄・入浴介助など)に焦点が行きがち。

楽しみや生きがい、機会の減少などの**ソーシャルワークのニーズ**を捉え支援することで、**利用者の生活がより豊かになる。**



➤ スtrenghス、エンパワメント視点

Aさんの事例では、、、

ストrenghス＝手話ができること

エンパワメント＝手話を誰かに教える力や、教えることにより生まれる楽しみや生きがいを引き出すこと。

利用者の基本情報や、普段の様子からストrenghスとなるようなものを見つける。



➤ レクリエーション(支援)を行うということに 囚われない

レクリエーションでなくても、利用者が楽しむこと(本来の目的)が達成できれば、何でもよい。

➤ 利用者について全体を把握しておくこと アセスメント・プランニング・モニタリングする中で、 すべてにおいて、利用者のことを理解したうえで支援 が成り立っているということを学んだ。



➤ 利用者主体を心掛けることの大切さ

ケアプランを作成するうえで、利用者にあったサービス内容を考えたものの、**利用者がどのタイミングで、どのレベルのサービスを希望しているのか**を考慮することができなかった。



用語解説

□マイクロ・メゾ・マクロの視点

例えば、入所施設では、利用者とその周りにいる人はマイクロ、施設という環境はメゾ、その外部にいる家族や地域はマクロとなる。通所施設では、利用者と家族はマイクロ、その環境である地域はメゾ、社会はマクロとなる。規模や範囲の「小(マイクロ)、中(メゾ)、大(マクロ)」を表す概念。

□ストレングス視点

単なる強み・長所ではなく、その人の自立に向けて活用可能な「強み」のこと。

□エンパワメント視点

否定的な環境の下で潜在している、その人の可能性や力を引き出す(顕在化させる)こと。

最後に

- 特別養護老人ホーム のじぎくの里
- 特別養護老人ホーム あじさいのおか牛窓
- 特別養護老人ホーム 清華苑
- 特別養護老人ホーム 星陽
- 特別養護老人ホーム サンライフ西庄
- 居宅介護支援事業所 やぶもと介護・福祉の相談室

実習にご協力いただき、ありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました

